

9月10日 【海外空手愛好家】八重瀬町で合宿稽古  
—国際交流と観光モニターを実施—



八重瀬町出身で沖縄尚道館剛柔流空手古武道連盟の伊敷幸敏最高師範は、スペインやイタリアなど7カ国の海外門下生38名を率いて9月1日～12日の期間、本町で合宿稽古を行いました。10日、町は滞在中の海外空手愛好家を招いた海外文化交流会を町中央公民館で開催しました。

交流会では、海外空手愛好家による空手演武や伝統音楽の演奏が行われたほか、町サイドは八重瀬歌舞団による伝統芸能の披露とあわせて、訪日外国人向けの観光モニターを行いました。最後は参加者全員によるカチャーシーで締めくくられ、文化交流を楽しみました。

9月26日 【ゆいの輪】こどもたちへ  
大切なメッセージ「命のお話し会」



命と性に関する活動を行うゆいの輪(代表：末武祐衣さん=志多伯)は、字友寄の「子供の広場あがべハウス」で命のお話し会を開催しました。

お話し会は地元の小中学生16名が参加し、親が子どもを大切に想う気持ちを描いた絵本「お母さんやっぱり大好き」の読み聞かせや、子どもたちに自分の好きなおとこや友達の名前を覚えてもらい発表し合うことを通じて、お互いが大切な存在として命を大切にしてほしいと伝えました。

末武さんは県立看護大学に在学し、同所のあがべハウスで学習支援ボランティアをする傍ら、今年7月に「ゆいの輪」を立ち上げました。

末武さんは「身内が立て続けに亡くなり命について考えることがあった。命の大切さをこどもたちに伝えたいと思った」と開催の切っ掛けを話し、「今回は、ゆいの輪として初めての活動。子どもたちの反応が良かったので、お話し会は定期開催したい」と話しました。



8月19日 県身体障害者スポーツ大会【水泳】  
謝花さん、富永さんが優勝



第59回沖縄県身体障害者スポーツ大会の水泳競技【自由形 25m】に八重瀬町から参加した謝花安志さんと富永ゆりかさんが優勝し、両者へメダルが授与されました。

謝花さんは「記録33秒73で目標を達成できました。練習を重ねて前回より早く泳げて達成感を感じています」と話し、富永さんは「こんな大きな大会は初めて!緊張したけど最後まで泳げて楽しかったです」と話しました。

8月22日 【少年野球】富盛チーターズ  
九州・山口地区大会で準優勝!



少年軟式野球の第36回虹の松原旗争奪「九州・山口地区親善大会」が8月に佐賀県で開催され、沖縄南部B代表の富盛チーターズが準優勝を果たしました。

決勝戦は、馬天スターズ(沖縄南部A代表)に1-5で惜しくも敗れるも、富盛チーターズは来年の同大会へ推薦されることが決定しました。3位は、東風平星、玉城スイミーと続き、同大会のベスト4を沖縄勢が占める結果となりました。

10月5日 トランス・コスモス株式会社  
八重瀬町で植樹活動



八重瀬町は、県内でコールセンター事業やサーバ監視事業などを営むトランス・コスモス株式会社(代表取締役共同社長：牟田正明氏、神谷健志氏)と「森林づくり協定」を締結しました。

同社は、CO2削減に繋がる緑化活動として八重瀬町スポーツ観光交流施設と健康増進機能強化施設(具志頭パークゴルフ場)にヒカンザクラ120本とツツジ20本を植樹することとなりました。

井上常務執行役員は「継続が大切。長い年月をかけて地域の環境保全に努めたい」と話しました。植樹は今年12月に予定されています。

10月19日 小学生バレーボール大会  
しらかわクローバーが九州3位



10月に佐賀県で行われた小学生バレーボールの九州大会(ドリームカップジュニアバレーボールフェスティバル)で、しらかわクローバーが見事ベスト4入りを果たし、新垣町長と諸見里教育長を表敬訪問しました。

試合結果を報告した仲間大貴キャプテンは「楽しかったけど準決勝で負けて悔しかった」と振り返り、宮城コーチは「8月の全国大会出場で自信がついたのか、九州大会では楽しみながら伸び伸びとプレイできていた」と児童らの成長を喜びました。